

市民向けの活動

センターが実施するメリット → センター職員等が有する専門的知識を有効活用できる。

町会や商店街などに出向き、地域住民からの相談対応や身近なエコ対策などの幅広い情報提供を行い、温暖化対策の普及啓発に取り組んでいます。



▲ 町会での出前勉強会の様子



▲ 商店街での情報発信の様子

主な活動実績

出前勉強会

町会、児童センター及び老人クラブなどに出向き、地球温暖化の現状や身近なエコライフなどの勉強会を行っています。

成果

- ・実施回数【45回】
- ・参加者【2,350人】
- ・CO2削減換算量【317トン】

地域での活動

人が集まる商店街やお祭りなどに出向き、セミナーの開催やエコ体験をしながら地球温暖化対策の情報をわかりやすくお伝えしています。

成果

- ・参加者【9,405人】
- ・CO2削減換算量【819トン】

相談対応

市民からの電話やイベントなどで、太陽光発電やLED照明をはじめとした身近なエコ対策について、相談にお応えしています。

成果

- ・相談人数【282人】

エコライフ パッケージ

小学生を対象に、夏休み期間中にエコライフを継続・実践してもらうプログラムを行っています。

成果

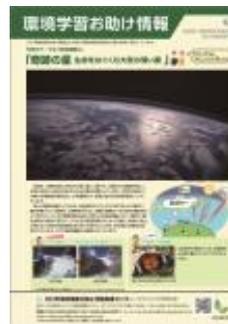
- ・参加小学校【30校】
- ・参加者【10,482人】
- ・CO2削減換算量【656トン】

教育関係者向けの活動

センターが実施するメリット → センターのネットワークを活かした様々な環境教育の展開が行える。

学校現場における環境教育の活動状況調査や取材等を行い、他校の参考になる事例などを集めた教職員向けの情報誌を発行するなど、環境教育の活動支援を積極的に行っています。

また、環境問題に詳しい講師の派遣や、DVDなどの教材を貸し出す支援も行っています。



▲ 教職員向け情報誌



▲ 小学校への講師派遣の様子

主な活動実績

活動状況調査

環境教育の活動支援を検討するため、教職員を対象に各学校における環境活動に関するアンケートを実施し、特色のある活動をしている学校を取材しその取り組みを情報発信しています。

成果

- ・アンケートの回答数【47校 回収率60%】
(上記内訳)
 - 【小学校30校 回収率58%】
 - 【中学校17校 回収率65%】
- ・特色があり取材した学校数【8校】

教職員向け情報誌

教職員が環境教育を実施するために参考となる情報や、他校の実践事例をまとめた情報誌を発行し、環境教育の活動支援を行っています。

成果

- ・発行回数【7回】
- ・情報誌を活用した教職員数
【403人 活用率23%】
(上記内訳)
 - 【小学校349人 活用率24%】
 - 【中学校 54人 活用率17%】

講師派遣「エコ・スクールン」

環境に関する知識を有し市域で活動がされている講師を、学校からの依頼により派遣しています。

(平成28年度から実施)

成果

- ・実施回数【22回】
- ・参加者【1,765人】

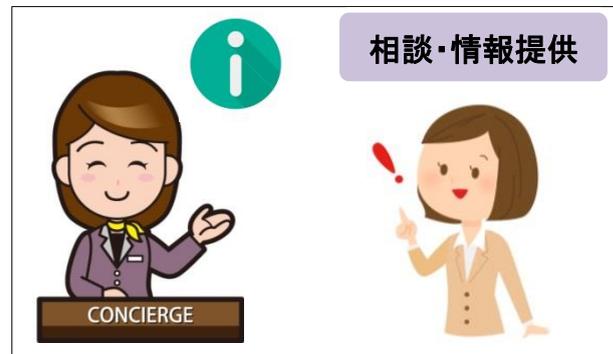
事業者向けの活動

センターが実施するメリット → 事業者の業種に応じて柔軟な支援や相談が可能である。

事業所の「省エネ診断」を行い、エネルギーロスの対処法などについて支援を行っています。
また、地球温暖化防止に取り組もうとする事業者をサポートする「地球温暖化防止コンシェルジュ」を今年度中に立ち上げるべく、準備をすすめています。



▲ 省エネ診断の様子



▲ 「地球温暖化防止コンシェルジュ」イメージ

主な活動実績

事業所省エネ診断

事業所を訪問して電気使用状況などを確認し、エネルギーロス解決に向けたアドバイスを行っています。

成果

- ・省エネ診断受診社数【2社】
- ・診断成果

電気契約内容の見直しや業務用LED照明への交換による経費節減

その他活動支援

事業者が行う環境活動を支援するため、取り組みへのアドバイスを行っています。また、従業員を対象とした勉強会の開催や、ニーズに応じたツールの貸し出しをしています。

成果

- ・支援社数【26社】

(上記内訳)

環境活動取り組みへのアドバイス【19社】
勉強会の開催【4社】
ツール貸し出し【3社】

地球温暖化防止 コンシェルジュ

「準備中」

地球温暖化防止に取り組もうとする事業者のニーズに応じて、「相談」「情報」「教育」の3つのメニューでサポートしていきます

成果(目標)

- ・サポート目標件数【20社】

事業成果

平成25年度～平成28年度までの実績値（センターの指定期間：平成25年度～平成29年度）

CO₂削減換算量

[推計 1,792トン]

センターの事業で削減できました。
 グリーンセンター敷地の約13倍
 の面積に杉の木が立木している
 のと同じ効果

【各活動の内訳】

- ①出前勉強会 317トン
- ②地域での活動 819トン
- ③エコライフバケーション 656トン

※1haあたり1,000本の密度で、35年～40年経った杉の木が、1年間に吸収する量で算出

新たな財源の確保

[19,274千円]

センター指定により交付を受けました。

年間約4,800千円の財源を確保

【各年度の内訳】

平成25年度	2,024千円
平成26年度	8,069千円
平成27年度	4,681千円
平成28年度	4,500千円

※上記金額は、センターでなければ交付を受けられない補助金等

市民の活動

[延べ22,519人]

環境保全活動に繋がりました。

川口市民の
 約26人に1人が活動した規模

【各活動の内訳】

- ①出前勉強会 2,350人
- ②地域での活動 9,405人
- ③相談対応 282人
- ④エコライフバケーション 10,482人

※川口市人口 595,495人
 （平成29年1月1日現在）

市内事業者

[延べ 28社]

環境に配慮した事業活動の支援
 を行いました。

これから本格的に支援を開始

【各年度の内訳】

平成25年度	3社
平成26年度	6社
平成27年度	10社
平成28年度	9社

今後の活動

目指すべき姿・活動目標

【目指すべき姿】 未来ある子どもたちのために、環境問題を先送りせず低炭素社会への取り組みを行い、
「都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”」
 の実現を目指します。



▲見沼田んぼでの自然観察風景



▲市内で撮影されたゴマダラチョウ

【活動目標】

センターの知名度を高め、多くの市民にご利用いただきたい

そのために

従来どおり様々なイベントに出店するとともに、**ニュース性の高い新たな事業を展開し多くのメディアに取り上げてもらえるような活動を展開して参ります。**

結果

【例示：現段階構想】

意欲ある民間事業者と連携した、今までにない取り組みにチャレンジ！

- ① 鉄道事業者との連携 → 啓発効果が見込める駅利用者へのアピール
- ② 町会、商店街などとの連携 → 地域と一体となった新たな再生可能エネルギー普及策等の構築

市民や事業者の環境に対する意識を高め、省エネルギーに配慮した生活や事業活動などを促します。